

DANIEL COHN-BENDIT

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- German politician, active also in France.



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

コーン・ベンディットは1968年5月のフランスでの騒ぎの間の学生リーダーであり、彼はまたその間にダニー・ル・ルージュ（彼の政治と彼の髪の色のため「ダニー・ザ・レッド」のフランス語）として知られていた。

彼は、欧州議会のヨーロッパ・グリーンズ・ヨーロッパ自由同盟グループの共同議長であり、ヨーロッパの連邦プロジェクトの再開を目指す欧州議会のインターグループであるスピネリ・グループの共同議長も務めています。

1994年に彼はヨーロッパ議会に選出されました。1999年のヨーロッパの選挙で、彼はフランスのグリーン党（Les Verts）リストのリーダーとしてフランスの政治に再び入りました。彼はフランスのメディアにかなりの支持を見いだした。彼はフランスのグリーンパーティーを代表していないか、対立しているときでさえも、しばしば彼を特集している。2002年に彼はイタリアのMEPモニカフラソニと一緒に、グリーン議会グループの会長になりました。

コーン・ベンディットが従来のヨーロッパの左右の政治を無視していたため、フランスではドイツよりも人気がない。フランスのグリーン党と一般的に残されたフランス人は、これらの区別により密接に関係しています。一方、ドイツのグリーン党では、控えめなレオの翼がすでに強固な基金の翼に勝っていました。中央左派のゲルハルトシュレーダー政権下の第三の方法政策はかなりの支持を得た。これは、彼の親ヨーロッパの態度と並んで、彼がリストの中で最も高い男性候補になって、そして再び選ばれたドイツ側の2004年のヨーロッパの選挙に参加するように導きました。

2010年に、彼は中東に関する外交政策問題に関して欧州議会に働きかけるためにヨーロッパに拠点を置く擁護団体JCallの設立に関わっていました。